



# みつわ通信

2017年

10月号

## 夏も終わり、新米の季節です。

お世話になっております。10月に入り、新米や美味しい物の季節です。食べ過ぎにならない様、体調管理をしっかり行っていきたいです。

今回はひび割れ対策の一つとして膨張材のお話をしたいと思います。



## コンクリートのひび割れ、膨張材。

新設されたコンクリート構造物において比較的初期の段階に発生するひび割れとしては、セメントの水和熱による温度ひび割れや、乾燥収縮によるひび割れが挙げられます。このような初期ひび割れの発生そのものを完全に封じ込めることは困難ですが、耐久性上有害とならない範囲にひび割れ幅を抑制することは可能です。一般には構造設計や配合設計及び施工を的確に行うことと、膨張材を用いることが有効とされています。

膨張材とは、コンクリートに投入し、硬化時に体積を膨張させることでコンクリート中に圧縮応力を発生させ、収縮による引張応力を低減させる効果がある混和材です。これにより、ひび割れの低減、ケミカルプレストの導入(科学的膨張による強度増進)、水密性の向上等が挙げられます。いいことだらけです。

## 膨張材売れてます！！！！

当社にもよく注文が来ています。6月より、1000㎡以上の実績が有ります。打設箇所は、ひび割れが入りやすい土間やデッキスラブに使用されています。当たり前ですが(笑)。

当社の混入方法は生コン製造時に材料と同時にミキサーに入れ混練します。袋詰め膨張材を人力で投入です(笑)。投入担当の方には本当に感謝です。

## その他混和材各種取り扱っております。

ひび割れ低減商品といえば当社実績のあるおなじみ「バルチップ」もお願いいたします。当社では様々な混和材のご相談も受け付けております、何なりとお申し付けください、お待ちしております。



当社おすすめ膨張材(デンカCSA)とバルチップの荷姿。

商品についてのお問い合わせはこちらまで。お気軽にご連絡ください。

TEL 023-686-6032

FAX 023-686-6074

担当者

山川、岡崎まで